

感染防止のチェックリスト

改定日 2023.07.20

(1) 徹底した感染防止等の準備		
1	参加者への事前通知	・ 研修会など開催日前日までに参加者へ感染症ガイドラインに則った注意喚起ができています
2	受付時の問診と確認	・ 体温確認ができる施設備品がある場合については使用を推奨
3	参加者の把握	・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握
4	参加者の制限	・ 入場時の健康状態や検温等で、入場を断った際の払い戻し措置の確認
5	参加人数の制限	・ 会場の環境（座席間隔、受付、トイレ等の密集が回避できない場合等）を考慮して、参加受け入れ人数制限の検討
6	準備物	・ 除菌シート、アルコール消毒液、予備の不織布マスク
(2) 基本的な感染防止等		
7	マスク着用の担保	・ 不織布マスクに関して着用の依頼を周知するとともに、不織布マスクの予備を準備していることを伝える(当日) ・ 講師の不織布マスク着用に関しては、講師の判断に委ねる
8	大声を出さないことの担保	・ 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができる * 隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） * 講師と参加者までの一定の距離を確保
9	手洗い・消毒	・ 出入口には必ず消毒備品等を設置し、受講者の手洗いや手指消毒等の徹底を図る ・ 主催者側による、手がよく触れるところ(出入り口のドアノブ、電気のスイッチ、机、椅子、PC等)のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒
10	換気	・ こまめな換気 1時間に1回1回5分程度または、参加者の体調に影響がない範囲で常時窓あけを行う
11	密集の回避	・ 座席位置や利用場所の配置を工夫するなど、人と人との間隔を確保する ・ 入退場時の密集回避（時間差入退場等）、休憩時間や待合場所等の密集回避 ・ 受付、トイレ等の行列ができる可能性がある場所には、間隔を空けて整列する依頼を行う
12	密接の回避	・ 実演モデルが必要な場合、予めモデルを決め、当人の承諾を得る（当日に参加者やスタッフ等から選ぶことのないようにする） ・ 講師の実技デモンストレーション等で参加者が接近しないように注意喚起を行う。映像を拡大して映す等の工夫を推奨する ・ グループワークの場合、向かい合った際の人と人との間隔に注意した配置を検討する 不織布マスク着用が必須 ・ 実技の場合のみ、人と人との距離に制限は設けないが、手指消毒を実施する。不織布マスク着用が必須 ・ 実技相手は最小人数とし、その相手以外の参加者との実技は行わない ・ 実技相手の組み合わせは、事業運営管理者が事前に指定するか、又は、実技相手を特定できる用紙等（仮称：実技参加者表）を作成し終了時に集約する ・ テキスト資料等の配布は手渡しで行うことは避け、机上に予め設置するなど、据え置き方式で行う
13	飲食の制限	・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限、及び飲食時の会話について注意喚起
14	演者の行動管理	・ 有症状者（発熱または風邪等の症状を呈する者）は出演を控える
15	ガイドライン遵守の旨の公表	・ 主催者が感染防止ガイドラインに従った取組みを行う旨をHP等で公表する
(3) 研修会等開催の共通の前提		
16	入退場やエリア内の行動管理	・ 参加者の入退場や区域内の行動管理を行い、行動管理ができないものは開催を慎重に検討
17	地域の感染状況に応じた対応	・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応